

事業  
概要

中日本ダイカスト工業株式会社 (本社工場)

http://www.nakanihondc.co.jp/  
岐阜県各務原市 / 金属製品製造業

| 平成29年度事業 |         |
|----------|---------|
| ■ 補助対象経費 | 2,250万円 |
| ■ 補助金    | 750万円   |



本社工場外観

中日本ダイカスト工業株式会社は、1959年に設立し、アルミ合金・亜鉛合金のダイカスト部品を製造する企業として、65tから670tのマシンを始め必要なすべての工程を用意し、提案型企業としての技術を磨いています。

本事業では、事業場の全使用エネルギーのうち50%を占める工業炉の設備更新、加えて照明設備の高効率化を実施することで省エネルギー化を図りました。

事業者メッセージ

執行役員 経営企画室 室長 長尾 憲三

当社は、2007年に5か所の工場を1か所に集約し、第一種エネルギー管理指定工場となったことをキッカケとして省エネへの取り組みを始めました。当初は、蛍光灯や空調をこまめに消すことや定期的なコンプレッサのエアリークチェックなど、手探りながら省エネに繋がると思われる取り組みを実施してきました。工場の集約から8年が経過し、従来の取り組みに限界を感じ、高効率な設備への更新による抜本的な改善に踏み切りました。

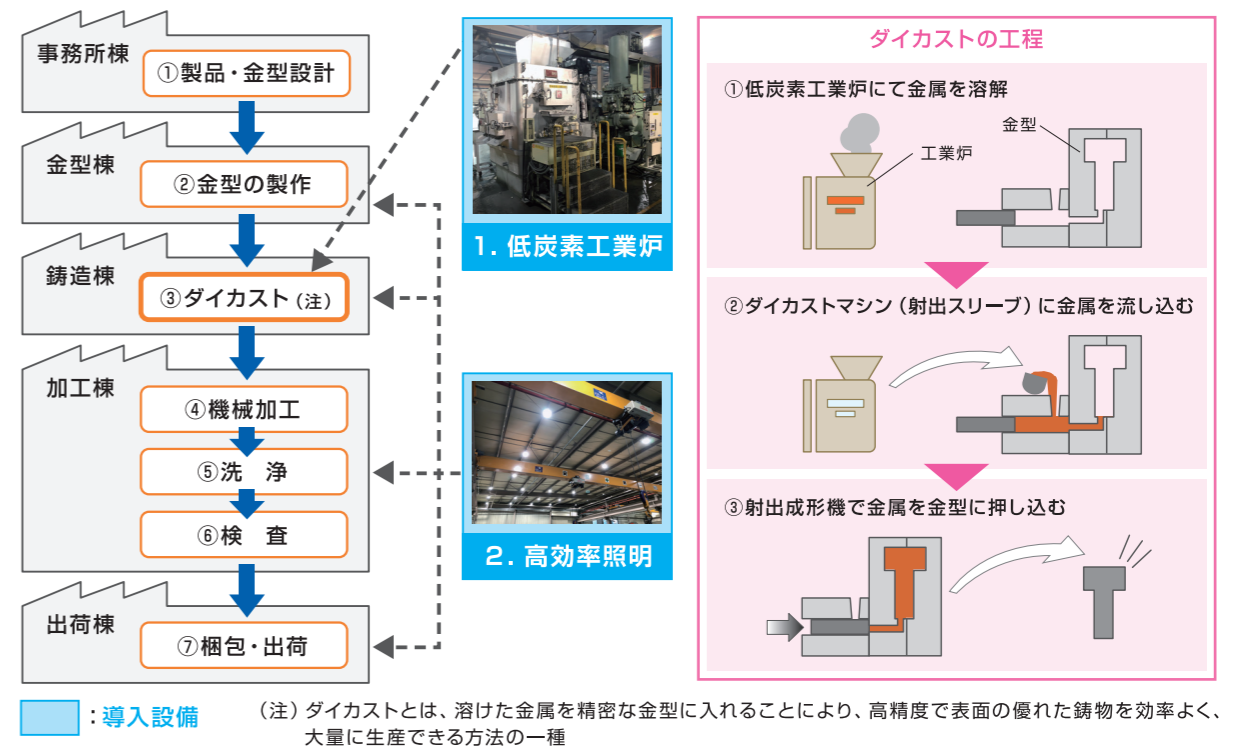
本補助金は、中部経済産業局主催のセミナーを通じて知りました。補助金申請にあたり、財務面、会計面、管理面でメリットがあるリース事業者様と共同で申請し、工業炉と照明設備を更新しました。更新の結果、省エネ効果はもちろんのこと、既存設備と比べて故障率が減少し、メンテナンスコストが低減され、年間750万円の運用コスト削減につながりました。

現在当社では、「省エネへの取り組み」を事業の継続と発展を支える活動と位置づけており、経営企画室がその担い手となっています。経営企画室は当社の競争力をより高めることを目指しており、限られた予算の中から積極的な設備投資を実施するうえで本補助金は欠かせないものとなっています。今後も省エネ促進を実現する基幹部門として活動を推進し、省エネ効果の高い設備に更新する際は、本補助金を有効活用していきたいと考えています。



設備活用  
イメージ図

1. 低炭素工業炉は、ダイカストマシン投入金属の溶解に利用
2. 高効率照明は、金型棟、鑄造棟、加工棟、出荷棟で利用



導入  
設備

- |           |      |
|-----------|------|
| 1. 低炭素工業炉 | 1台   |
| 2. 高効率照明  | 528台 |

1. 低炭素工業炉

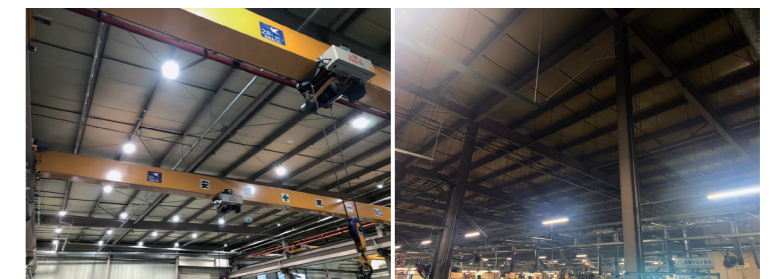
| 種別  | 燃焼式 バッチ式溶解炉 |
|-----|-------------|
| 要件  | <炉効率> 30%以上 |
| 性能値 | 52.9%以上     |



2. 高効率照明

※主な設備の性能値

| 種別  | LED照明器具                     |
|-----|-----------------------------|
| 要件  | <固有エネルギー消費効率><br>110 lm/W以上 |
| 性能値 | 160.0 lm/W                  |



事業  
効果

|          |             |
|----------|-------------|
| エネルギー使用量 | 155 (kl/年)  |
| 省エネルギー量  | 84.4 (kl/年) |
| 省エネルギー率  | 54.6 %      |